

情報公開用文書

— 臨床研究に対するご協力をお願い —

当院に通院中の患者様またはご家族の方へ

芳珠記念病院では、より良い医療の提供を目指して、診療で得られた情報を活用した臨床研究を行っております。

この研究は、国が定めた倫理指針に基づき、皆さまに情報を公開することが義務付けられています。ご自身の情報が研究に使われることについて、もしご不明な点がありましたら、以下の「問い合わせ先、苦情等の連絡先」までご遠慮なくお問い合わせください。

臨床情報を用いた観察研究

研究課題名

『高齢者糖尿病におけるイメグリミンの体重変化に及ぼす影響の後ろ向き観察研究』

当院内科に通院中の多くの患者さまが対象となるため、ウェブサイト上でお知らせしています。

この研究は、イメグリミン投与前後の血液検査結果など過去の臨床情報を用いて研究を行いますので、新たに患者様への負担は生じません。また、費用の負担も生じません。

過去にイメグリミンでの治療を受けられた方は、この説明文書を読まれた上で、参加の中止を申し出ることができます。もし参加を中止しても、これからの治療に差し支えることはありません。

この研究に参加されるかどうかを決めていただくためには、あなたに研究の内容についてできるだけ多く知っていただくことが必要です。説明の中で分かりにくい言葉や疑問、質問がありましたらどんなことでもご遠慮なくお尋ねください。

芳珠記念病院 第1版
作成日 2025年9月8日

研究の背景・目的

高齢の糖尿病患者さんは、低血糖（血糖値が下がりすぎることを起こしやすく、また、やせが進むと、サルコペニアやフレイルといった筋肉や活力が失われる状態になりやすいことが報告されています。このため、高齢の患者さんには、低血糖を起こしにくく、体重が大きく減らない糖尿病薬が望ましいとされています。

2021年に発売された「イメグリミン」という新しいお薬は、これらの点に優れていることが報告されています。しかし、高齢の患者さんにおける詳しい効果についてはまだ十分なデータがありません。

そこで本研究では、当院でイメグリミンを処方された患者さんの診療記録を分析し、体重や血糖値の変化、副作用などについて調べることを目的とします。

研究の方法・対象

この研究では、2022年9月1日以降に当院でイメグリミンによる治療を受けられた患者さんの過去の診療記録を利用します。具体的には、糖尿病の経過観察のために行われた血液・尿検査の結果や、合併症に関するデータを使わせていただきます。

患者さんのお名前や住所がわかる情報はすべて削除し、個人が特定できないようにしたうえで分析を行いますので、ご安心ください。また、本研究で使用したデータは、本研究終了後に破棄致します。

この研究で得られた結果は、学会や学術雑誌などで発表されることがありますが、その際も個人が特定されることは絶対にありません。

研究期間

芳珠記念病院倫理審査委員会の承認日から2026年3月31日までです。

研究への参加・不参加および同意撤回の自由

この研究に参加されるかどうかはご本人の自由であり、参加・不参加によって今後の診療に不利益が生じることはありません。またいつでも参加を辞退することができます。上記の研究対象に該当する患者様で、参加辞退のご希望、または一旦参加に同意された後でも撤回のご希望がありましたら、お手数ですが2026年3月31日までに下記の相談窓口までご連絡をお願い致します。

問い合わせ、苦情等の連絡先

あなたが、病気のことや今回の観察研究に関して、疑問に思うことや困ったことが生じる場合は、下記にご連絡下さい。

芳珠記念病院 内分泌・糖尿病内科

研究責任医師：浅野 嵩博

相談窓口：芳珠記念病院

電話番号：0761-51-5551（代表）